



CSR 報告書 2012

 三栄印刷株式会社



企業の社会的責任（CSR）とは、会社を構成する経営者及び社員全員が、“当たり前”のことを当たり前に行い、その結果として社会の役に立つことであると考えています。

それでは、“当たり前”とは、どういうのでしょうか。

それは、社員一人一人が、健康で、働くことに喜びを感じ、その結果として、お客様に満足される製品を提供すること、あるいは、法律を遵守すること、地球環境に配慮すること、地域社会への貢献などが考えられます。

しかし、一口に“当たり前”といっても、その実行には常に困難が伴います。

当社では、社員一人一人が様々な活動を行うことで、その困難を克服してまいります。

最後に、この CSR レポートの作成が、PDCA サイクルの C、即ち、チェック機能の役割を果たし、今後の CSR 活動が更に改善されていき、CSR のスケールが一層拡大されていくことを期待しています。

三栄印刷株式会社

代表取締役社長 光枝 久美子

経営理念・方針

経営理念

「三栄魂」

お客様、社員、地域社会、この三者が繁栄することを目標にして企業経営を行います。すなわち、お客様の商売繁栄のお手伝いをし、地域の発展に寄与し、社員一人一人が仕事を通じて成長できるような職場環境を目指します。

経営方針

- 一、「お客様第一主義」に徹します。
- 一、社員一人一人が働きがいのある企業作りを目指します。
- 一、地域社会の進歩発展に貢献できる企業を目指します。

常にお客様の目線で考え、お客様の要求を正しく理解することで、はじめて最高の製品やサービスを提供することができます。この積み重ねがお客様の「信頼」に変わり、永続的にお付き合いできる「最高のパートナー」となることが一番の目標です。

そして当社の製品やサービスがお客様の商売繁栄に繋がり、地域全体が活性化する仕事を生み出す努力をしていきます。

また、仕事を通じて社会的に影響を及ぼす責務にやりがいと誇りを持ち続けられる企業づくりを目指していきます。

環境方針

三栄印刷株式会社は、企業の社会的使命として、環境問題への取り組みを最重要課題と位置付け、その継続的な改善に取り組むことを宣言します。

なお、宣言実現のため、以下の環境マネジメント活動を実施します。

基本方針

- ①環境保全活動を推進させるためのシステムの継続的改善を図り、環境汚染予防に努めます。
- ②PDCAサイクルの厳格な運用並びに定着化を図ることで、経営の効率化を推進し、全社員が目的意識を共有して、省エネルギー・省資源・廃棄物の排出量削減を継続的に取り組みます。
- ③当社の主要業務である印刷業務においては、顧客に対し非木材紙や再生紙及び大豆油インキ等の環境に配慮した資材を積極的に勧めます。
- ④環境関連の法律、条例、協定などを遵守します。
- ⑤電気エネルギー・水の有効利用を促進すると共に、太陽光発電システムを導入し非化石燃料エネルギーを活用します。
- ⑥様々な教育活動を通じ、社員の環境問題に対する意識向上を図ります。
- ⑦社内外に対して、環境保全に関する情報開示を積極的に行います。
- ⑧環境保全活動を通じ、社員の健康管理に留意していきます。

2012年8月1日

グリーン購入方針

基本理念

三栄印刷株式会社は、環境に与える負荷が少なく、また環境に配慮された製品を優先的に購入すること（グリーン購入）を推進していきます。

なお、環境の保全と向上のために以下の購入方針を実行していくことを目指します。

基本方針

製品を購入する際には、次の項目に留意して、出来る限り環境負荷の少ない製品の購入に努めます。

- ①法令・条例により規制されている物質を含む製品、地球環境へ悪影響を及ぼす恐れのある物質を含む製品は購入しない。
- ②省エネルギー製品を優先的に購入する。
- ③印刷物資材は「古紙リサイクル適正ランクリスト」に基づき購入する。
- ④リユース・リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。
- ⑤資材・機械の購入に際しては、積極的に環境保全に取り組んでいる業者に優先的に発注する。

2008年8月1日

個人情報保護方針

基本理念

三栄印刷株式会社は、個人の尊厳を保持する上で、個人情報保護の重要性を十分に認識し、当社事業活動において個人情報を取り扱う場合には、以下の基本方針を定め、個人情報の保護に努めます。

基本方針

- ①当社が、印刷業務に付随する個人情報を取得する場合には、その利用目的を明らかにし、本人の同意を得たうえで取得し、取得目的以外の利用は行いません。
また、本人の同意なしに、取得した個人情報を社外に提供することはありません。
外部委託する場合にも、厳格な情報の保護を契約により義務づけ、適切な管理を実施させます。
- ②当社は、三栄印刷株式会社で取り扱われる全ての個人情報を安全かつ適切に管理し、個人情報の漏えい、滅失またはき損を予防するため、合理的で適切な安全対策を行うと共に、万一事故発生の場合には速やかに是正処置を講じます。
- ③当社は、個人情報に関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守します。
- ④当社は、個人情報保護管理者を任命し、個人情報の適正な管理を実施すると共に、個人情報に関する苦情及び相談には、誠実かつ適切に対応します。
- ⑤当社は、個人情報を適正に利用し、その保護を徹底するために、個人情報保護マネジメントシステムを制定し、これを全従業員に周知徹底させて実施、維持し、継続的な改善を行います。

2005年8月1日制定
2008年4月18日改定

個人情報保護への取り組み

個人情報保護に対する取り組み

2005年4月個人情報保護法全面施行による消費者の個人情報保護への意識の高まりを受け、プライバシーマークの取得に取り組み、昨年2012年、4回目の更新認定を受けました。

当初は顧客への信頼を高め、社内システムを強化するための取り組みでした。しかし、今では福岡住宅総合館、博多金印本舗、自費出版事業等、直接個人情報を収集する事業も始め、社員一人一人が常に細心の注意を払い個人情報を取り扱うシステムを構築しております。

プライバシーマーク認証取得に対する要望はトップダウンではなく、社員からの声が始まりでした。各部署から委員を選出、コンサルタント等を使わず、社員が自ら勉強し、すでに認証している企業に学び、三栄印刷の実情に沿ったシステムを構築してきました。各委員が常に多方面で情報収集を行い、審査の際も常に学ぶ姿勢で取り組み、PDCAサイクルにより、年々システムの改善を重ねています。



▲インターフォンによる受付解錠システム(来訪者の管理)



▲プライバシーマーク登録証

安全管理の徹底

- ・ウイルス対策として全パソコンへのウイルス対策ソフトを導入、ファイル共有ソフトの使用禁止、持出専用のパソコンを決め、他のモバイルパソコンの持ち出し禁止。
- ・玄関のインターフォンによる受付解錠システムで来訪者の入退館のセキュリティ強化はもちろん、各フロアのセキュリティレベルを設定。
- ・印刷会社では大量に発生する損紙等の廃棄については、プライバシーマークを認証取得している企業に委託。委託先には1年に1度評価を行い、選定基準に合格した委託先のみ契約を交わした上で業務を委託。
- ・社員とは入社退職時に個人情報に関する誓約書を取り交わす。
- ・定期的にセキュリティ教育を実施。

印刷機などについて

■オンデマンド印刷について

オンデマンド印刷機を導入し、オンデマンド印刷を行っています。メリットとして、小ロット印刷が可能のため余剰在庫が削減でき、データから直接印刷できるためオフセット印刷のように刷版する必要が無く、省エネにつながります。印刷にはグリーンプリンティング認定のエコトナーを使用しており、グリーンプリンティングマークを表示することが出来ます。また、バリアブル印刷にも対応しており、1部ずつ印刷内容を変更することができるため、より効果的なセールスプロモーションができます。

■ユニバーサルデザインについて

ユニバーサルデザインとは一般の人はもちろん、お年寄りや障がい者の方など皆が「便利だ、使いやすい」と思えるデザインです。弊社はユニバーサルデザインを積極的に取り入れています。

UDフォントという、読みやすさの向上と誤読を防ぐ為に工夫されたフォントを使用したり、色覚障がい者の方に配慮した色で構成した印刷物などを手がけます。

また、ユニバーサルデザインに関するセミナーへの参加も積極的に行い、知識と技術の向上に日々努めています。

■溶剤

胆管癌の要因とされるジクロロメタン等を含まない製品へ切り替えたり、エコタイプのものへ転換し、人と環境に影響の少ない物を使用しています。また、未使用時のふた締めを徹底し、環境への配慮を行っております。今後も新しいエコ資材を検証し、更なる改善を目指します。

■インキ

ベジタブルインキを使用し、環境に優しい印刷を行っています。また、プロセスインキはVOC（シックハウス症候群や光化学スモッグを引き起こす原因物質）1%未満のインキを使用し、VOC削減に貢献します。

■オフセット印刷について

BS-1システム（湿し水ろ過装置）

“水を制するものは、印刷を制する”

オフセット印刷において、湿し水の管理は極めて重要な要素であります。インキ、油、スプレーパウダー、ホコリ、紙粉…。印刷中は様々な不安定要素が湿し水へ混入し、トラブルの元になっていきます。常に管理された清水で印刷を行うことが品質安定につながります。

- ・（BS-1導入前）排水、年間約720L（導入後）年間約60L

- ・ 湿し水が原因であるトラブルなし。
- ・ ノンアルコール印刷（IPA不要）
- ・ 品質向上
- ・ 乾燥時間短縮
- ・ 水槽清掃時間不要



カラーマネジメントシステムへの取り組み

“簡単な印刷” “やさしい印刷”

印刷機は、変動要素の多い最もたるものです。

基本は、いつ誰が印刷しても、変動が少なく、同じ色調で安定した印刷を維持できることが原点であります。

当社では、印刷機で標準濃度の校正刷りを行い、それを元にカラープルーフの色調を調整していきます。そのため再現の難しいカラープルーフが色見本として出ることはありません。印刷機基準でカラーマッチングを行うことで簡単な印刷を目指しています。



印刷機メンテナンスへの取り組み

“メンテナンスの問題は 技術の問題であると同時に 経営の問題である”

水、インキ、ローラー、ブランケット、温度…。オフセット印刷機はアナログな変動要素が多々あります。一つ一つの仕事に変化の連続であり、オペレーターの経験により常に標準な管理が必要になります。オペレーターの機械管理により品質が良くも悪くもなり、効率も大きく変わっていきます。当社工場では、印刷機の各号機に個別のメンテナンス表を作成し、毎日チェック。日々、標準管理を目指して、未然の事故防止に努めております。

エコについて

■エコドライブ

5年前より営業車のバックドアにエコドライブステッカーを貼付しています。信号停止などに後部車両に対し、アイドリングストップやエアコンの使用を控えめにするなどといったエコドライブを啓蒙するためです。導入背景として、2000年以降、環境問題が取り出されるようになり、当社でも身近なところより環境意識を高めていこうと始めました。



■太陽光発電装置の設置

2006年10月より地球環境保全活動の一環として、発電時に廃棄物、CO₂や有害な排気ガス、騒音、振動などを発生させないクリーンな発電設備である太陽光発電システムを当社の工場に導入しています。

年間発電量はおよそ7,000kWhで工場の使用電力の約3%に相当します。



当社は、太陽光発電(PV)によるクリーンエネルギーを利用して、印刷物を生産しています。

会社玄関口の上に発電量を常時確認できるパネルを設置。また、オリジナルキャラクター「えこっぴ」を制作し、

太陽光発電の周知徹底をはかっています。
(2012年度電気量・ソーラー発電グラフは表1を参照)



▲太陽光発電量表示パネル



▲ソーラーパネル

■デマンド管理機器の導入

当社は2010年より、リアルタイムで使用電力量（デマンド値）を監視する機器を導入しました。

デマンド値が一定値を超えそうになると警報が鳴ります。その際は、各部署ごとに手順に従って機器の電源を落とすなどして電気の使いすぎを防ぎます。また、一日ごとに最大デマンド値・合計使用電力量を記録して、電気使用状況の「見える化」を行い、節電に役立てています。

同時に、社内で使用する機器全ての使用電力量をリスト化し、計画を立てて節電活動を行いました。（表3参照）

2012年の結果は、電力需要が逼迫する7月～9月の期間に約5%の削減に成功。また、社員の意識も向上し、電力使用状況の具体的な数値に基づいて、エアコンや機器の電源オフなどの行動を起こせるようになりました。今後もこの活動を継続し、さらなる節電・省エネを実現していきます。

[表1]

2012 年度電気量・ソーラー発電量

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
電気使用量	9,666	12,660	12,222	15,528	15,660	12,528	12,132	12,024	9,738	13,698	10,698	14,850
ソーラー発電量	670	733	554	640	740	556	669	420	394	346	550	713
合計	10,336	13,393	12,776	16,168	16,400	13,084	12,801	12,444	10,132	14,044	11,248	15,563
比率	6.5%	5.5%	4.3%	4.0%	4.5%	4.2%	5.2%	3.4%	3.9%	2.5%	4.9%	4.6%

[表2]

2012 年度 CO₂ 削減量

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
CO ₂ 削減量 (kg-C)	124	132	100	116	133	100	121	75	72	63	98	129

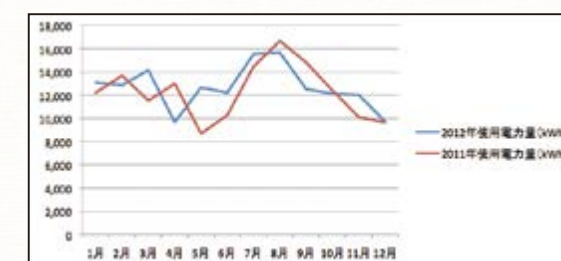
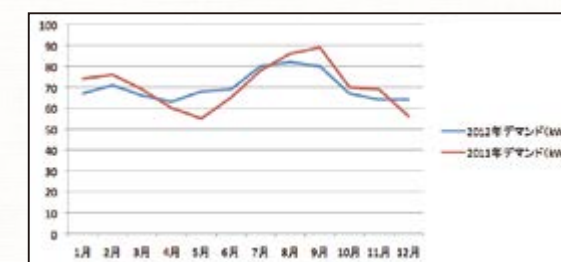
年間合計 1263 kg-C

[表3]

2012 年度デマンド値と使用電力量

	デマンド (kW)			使用電力量 (kWh)		
	2012 年	2011 年	前年比	2012 年	2011 年	前年比
1 月	67	74	- 7	13,074	12,234	+ 840
2 月	71	76	- 5	12,876	13,686	- 810
3 月	66	69	- 3	14,148	11,526	+ 2622
4 月	63	60	+ 3	9,666	12,996	- 3330
5 月	68	55	+ 13	12,660	8,700	+ 3960
6 月	69	65	+ 4	12,222	10,272	+ 1950
7 月	80	78	+ 2	15,528	14,467	+ 1061
8 月	82	86	- 4	15,660	16,679	- 1019
9 月	80	89	- 9	12,528	14,814	- 2286
10 月	67	70	- 3	12,132	12,405	- 273
11 月	64	69	- 5	12,024	10,111	+ 1913
12 月	64	56	+ 8	9,738	9,657	+ 81
合計	-	-	-	152,256	147,547	+ 4709

7～9 月の合計値	43,716	45,960	- 2244
-----------	--------	--------	--------



デマンド測定装置

事業内容（印刷以外）

■web事業（博多金印本舗・福岡住宅総合館）



①博多金印本舗 <http://hakatakinnin.com>

●事業内容

2012年3月より、インターネット通販サイト「amazon.co.jp」への出品代行サービスを行っています。amazonと三栄印刷が大口出品契約を交わし、福岡県内の企業が製造もしくは販売をしている商品を、amazonに出品代行しています。また同じ商品を、三栄印刷運営サイト「博多金印本舗」に掲載しています。

具体的にはamazonへの商品登録、amazonからの注文連絡・入金連絡、amazonへの出荷連絡を三栄印刷が行います。出品企業はamazonとのやり取りを行う必要はなく、注文時の商品発送のみを行い、また販売機会が増えるよう三栄印刷が出品内容を随時更新しています。

●背景及び社会貢献

インターネット通販は年々拡大していますが、技術的・時間的な問題で取り組んでいない企業があります。福岡県内の企業でまだインターネット通販に取り組めていない企業やインターネット上でのさらなる販路拡大を考えている企業に対して、三栄印刷のノウハウを活かしたインターネット販売のサポートを行うことで、地場企業を活性できると考えています。



②福岡住宅総合館 <http://www.fukuoka-house.com>

●事業内容

2011年8月より、福岡県内の中小優良工務店の資料請求ができるサイト「福岡住宅総合館」を運営しています。現在10社が掲載されており、ユーザーは掲載工務店の資料を一括で請求できます。

工務店は初期費用・月額費用無しでサイトに自社情報を掲載でき、資料請求があった場合は三栄印刷が資料請求者へ代行して資料を発送します。工務店は資料請求者の個人情報を受け取り、その個人情報をもとに資料請求者へ営業活動を行うことができます。

●背景及び社会貢献

住宅購入検討初期段階のユーザーはインターネットでさまざまな情報を収集し、住宅展示場に足を運び、大手ハウスメーカーにコンタクトしています。こういう住宅購入意欲が強い人を知名度の低い中小工務店が単独で自社のホームページにアプローチさせるのはかなり難しいと考えられます。

そこで住宅情報を掲載しSEO対策を施した「福岡住宅総合館」を開設し、中小工務店が今までコンタクトできなかった顧客層へアプローチする場を提供することで、地場工務店の活性化につなげることができます。

■WASシステム



正式名称はWeb Autolayout Server。Webを介して印刷物を受注するシステムで、Web上でお客様が入力したデータを自動で組み版し、仕上がりのイメージをその場でプレビューとしてブラウザで表示します。当社では主に、名刺の受注に使用しています。

お客様がWeb上で一気に入力から確認まで出来ることにより、原稿から文字を入力する際の入力ミスを防ぐことができ、確認作業の時間及び校正紙に使用する用紙・出力時のエネルギー等を節約することができます。

総合的にエネルギーを省くことができ、環境に寄与しています。



■自費出版事業

学研
マーケティング

×

三栄印刷

九州初コラボ

あなたの書いた原稿がプロの編集者の手で
本となり学研から出版されます。
自分の著作を大手書店で販売する——
そんなあなたの
夢をかなえてみませんか？

Gakken × SANEI PRINTING

<http://www.kojinnsyuppan.com>

自分史、研究結果、教育論、詩集などなどあらゆるジャンルに一家言持つ人は多いことでしょう。そんな人たちの思いを形にするために、当社は株式会社学研マーケティングと提携し自費出版の取り扱いを始めました。

自費出版したくても、アイデアを形にするためのノウハウがない、原稿を編集・校正するスキルがない、そんな問題を抱えている方はたくさんいらっしゃると思います。当社は学研マーケティングと共同作業することでそんなお悩みを解決することができます。

インターネットで手軽に情報発信ができるようになったとはいえ、一冊の本という形にすることは大きな違いがあると思います。

是非ともわたしたちと一緒に皆さんのその思いを形にしてみませんか？

社内行事

■社員旅行



基本的に2年に一度、社員全員で社員旅行を実施しています。三栄印刷の社員で構成される親和会によって月々旅行費用を積み立てています。

過去の実績

2012年:鹿児島(霧島、桜島)
2010年:島根(出雲、石見)、鳥取(境港)
2008年:愛媛(道後温泉)、香川
2006年:台湾
2006年(新年会):金沢
2005年(新年会):釜山
2004年:北海道
2002年:佐賀(嬉野温泉)、長崎(ハウステンボス)
2000年:宮崎
1998年:熊本(南阿蘇)
1996年:京都
:

■親和会

社員の親睦を深めるため、業務とは別に組織されています。年間通じて社内旅行や忘新

年会、バーベキューなどのイベントを行っています。社員の家族も参加できるイベントもあり、ご家族に社風を知ってもらえる機会にもなっています。



■スローガンの募集

朝礼でスローガンを復唱しています。このスローガンは、毎年社員一人一人から案を募り、役員の投票により決定しています。

スローガンを全員で唱和することによって、意思確認・統一を図る目的で始めました。日々継続し、全員が一体感を高めることで、企業としてより力を発揮し、社会貢献を行うことに繋がっています。

<今年のスローガン>

「何事も 気付いたあなたが 責任者
報連相で 工夫・改善・即行動」

■制作部勉強会『カミワザ発表会』

この発表会は当社の制作部で行われているものです。ネーミングについては、「すごい神業の様なテクニック」という意味と「紙媒

体の印刷物に関わる業務に就いている」という意味を合わせ持たせた物です。内容は、毎回担当者を決め、年4回、30個のワザを目標に行っています。担当者の課題に対する答えを各々導きだし、その技術を他の部員に発表しています。新しい技術の習得、また全部員の技術力の平均化を図ることにより、業務効率のアップ・ミスロスの削減に効果を上げています。結果、「時間・電力・資材」等の節制につながり、環境に寄与しています。

■健康診断

当社は、全社員を対象に毎年一般健康診断を実施しています。また、有機溶剤作業従事者に対しては、特殊健康診断を実施しています。

インフルエンザ流行前には、希望者を対象に予防接種を行っています。費用は全額会社負担です。感染予防のための手指消毒剤・マスクの常備を行っています。

■社内報



当社の社内報「Sun flourish+」（サンフラリッシュプラス）は、平成13年11月に「準備号」を発刊し、後に平成14年1月に正式に創

刊されました。

内容は社員旅行や忘・新年会などの社内行事から新入社員紹介、社員アンケートなど盛りだくさんです。また、社員間の親睦を図ると共に社員の家族にも会社と社員についてもっと知ってもらう事が発刊の目的のため、担当を決めてコラムを書いたり、社員個人を順番に深く掘り下げて紹介するなど、業務以外にも触れています。

■資格取得

社員の資格の取得についても力を入れています。

ハイレベルな印刷関係営業員を認定する「印刷営業士」や、色に関する幅広い知識や技能をもつ「色彩検定」、最近ではクラウドマネジメント協会が認定を行っている「IMA（インターネット・マネジメント・アナリスト）認定者」の資格取得者が業務に従事しております。

また、近年問題になっている有機溶剤による人体への影響について、この問題を重く受け止め、印刷機を動かすオペレータ全員が「有機溶剤作業主任者」の取得に合格いたしました。

上記により担当する業務に対し、より適切な行動が行えるように日々努めております。

地域とのかかわり

■干支の置物



授産施設支援の一環として、北九州市門司区にあるひかり工芸舎様から干支の土鈴を購入しています。それをお客様へ新年のあいさつ時に配布しています。中には配布されるのを待ち望んでいる方もおり、喜ばれています。

■周辺清掃



社会貢献活動の一環として、日頃お世話になっている周辺地域への感謝を込めて、毎週水曜日の朝に、会社周辺の清掃活動を行っています。

毎週活動していますが、周辺のゴミはなかなか減少しません。特にタバコの吸い殻が目立ちます。早朝から清掃活動をするわたしたちの姿を目にすることで、地域の方々への啓発にも繋がればと思います。

会社の周辺には学校や病院、郵便局など公共の施設が集まっています。地域の方々が安心して暮らせる街づくりのお手伝いができるよう、これからも清掃活動を継続していきたいと思っています。

■エコレポ



環境問題への取り組みを最重要課題としている当社では、環境に関する様々な情報を社内外に発信するために「エコレポ」を発刊しています。

当社が取り組んでいる「太陽光発電」や「紙のリサイクル」についてはもちろん、「レジ袋からマイバックへ」や、「エコドライブ」「牛乳パックリサイクル」など身近な環境問題についても取り上げています。

当社の環境に対する取り組みを知って貰うと共に社外の方々にも環境問題に関心を持って貰うことが目的です。

■インターンシップ

社会貢献活動の一環として、就業体験を目的としたインターンシップなどの体験活動をご要望にあわせて行っております。

在学中に関連業種を専攻されている方、中学校の職業体験で参加された方など様々ですが、実際にプロの現場で作業の様子等を見ていただいたり、社会人として大切な事などを肌で感じ、色々な思いで帰って行かれます。また、外部の方が来られることにより、社員間での仕事に対する意識の向上や社内外の環境整備づくりにも役立っています。

■会社概要

社名	三栄印刷株式会社
設立	1963（昭和38）年10月
所在地	〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-6-1
TEL	092-631-3336
FAX	092-631-3338
資本金	2,000万円
代表取締役	光枝治郎
取引銀行	福岡銀行 県庁内支店 福岡中央銀行 本店 三菱東京UFJ銀行 福岡中央支店

■会社沿革

1963年10月	三栄印刷有限会社設立
1972年 7月	三栄印刷株式会社に組織変更 資本金 210万円
1973年 2月	資本金1,000万円へ増資
1994年 8月	新社屋建設のため博多区築港本町印刷会館に仮移転
1995年 7月	福岡市博多区千代に新社屋完成
1996年 5月	資本金2,000万円へ増資
2003年10月	創立40周年を記念し、社章変更
2004年 9月	ISO14001認証取得（登録証番号JQA-EM4211）
2006年 9月	Pマーク使用許諾証取得（No.24000067号）
2006年10月	新工場竣工、太陽光発電（PV）システム運用開始
2008年 9月	グリーンプリンティング認定工場に認定取得
2010年 9月	第9回印刷産業環境優良工場表彰で奨励賞を受賞

